

神戸市外国語大学生協 ポップコンテスト



[組織運営]

取り組み概要

日時：6月19日～7月9日
参加者数や組合員の反応：
ポップは41枚集まった。

背景や概要：新入生が入ってくる時期に
： 購買利用を促進するため、組合員から手
： 書きの焼きたてパンのポップを募集しま
： した。組合員は好きなパンを自由に選ん
： で描き、完成したポップは店舗に飾られ
： ました。

組合員が店舗を作る手助けを

POINT.1

組合員による店舗装飾



この取り組みは、生協の購買部で販売されている焼きたてパンに関連したポップを作成し、応募して入賞することで景品がもらえるという企画でした。自分の好きなパンやおすすめのパンについて、アイデアを活かしたポップを作成できるため、創造性を発揮しながら楽しんで参加できる内容でした。新入生・上回生ともに生協店舗の運営に関わる機会となりました。また、購買部の入り口や食堂のテーブルなど、多くの組合員が利用する場所に用紙を設置することで、より多くの方が取り組みに関わる機会を得ることができました。これにより、単なる販売促進の枠を超えた、組合員同士の交流を促すきっかけとなりました。

POINT.2

参加のしやすさを重視

これまでのポップ作成募集企画は、PowerPointなどのデジタルツールを使った形式がよく見られました。しかし、今回の取り組みでは、用紙に直接カラーペンや色鉛筆を使ってポップを描くアナログな方法を採用しました。これにより、参加者は自由にアイデアを表現できるようになり、デジタル機器に慣れていない方も安心して参加できるため、幅広いスキルレベルの方々が楽しめる機会となりました。



POINT.3

魅力的な店舗づくり



当初は応募されたポップのうち入賞したもののみを装飾に使う予定でしたが、多くの優れたデザインが寄せられたため、全てを装飾に用いることにしました。これにより、組合員が店舗づくりに参加している意識を高める効果が生まれました。自作のポップが店舗で使用されることで、参加者は自分が運営に参画している実感を持つことができ、今後の生協活動への積極的な関わりを期待できます。

今回の取り組みで手作りの温かみあるポップが装飾され、組合員が親しみを持つ店舗になったと思います。